

# 大阪府子ども教育・生活支援事業

フリップ①

新型コロナ、物価高騰の府民生活への影響を踏まえ、子どもたちを支援するため、  
**18歳以下の子どもにプッシュ型でギフトカード等を配付**

【令和4年度第4号補正予算】  
154億円

## 概要

府内市町村に住民登録している18歳以下の子に1人当たり「1万円の**ギフトカード等**」を配付

→ 子どもが使用する用品（**文房具や書籍、おむつ、生理用品などを想定**）の購入等にご利用いただく

## 対象者

- ・基準日（令和4年6月30日）時点で住民基本台帳に登録されている者のうち、令和5年4月1日時点で18歳以下の者
- ・令和5年2月28日までに出生届が提出された子ども

## 配付方法

基準日時点にお住いの住所（基本的には住民基本台帳に登録の住所）にギフトカード等を郵送

## 配付時期

7月下旬を目途に調整中

### 【特に配慮が必要な方へのお知らせ】

- DV避難者の方等で、住民基本台帳の住所と異なる場所にお住いの方も対象とする。  
具体的な対応については、専用のコールセンター等を設置するなど、現在検討中。  
（※）コールセンター等の詳細が決まり次第、後日お知らせ

## 問い合わせ先

大阪府子ども教育・生活支援事業問合せ窓口

電話番号：06-6944-7442（平日9時～17時30分）

ギフトカード等

府内の子どもたち



必要な用品を購入

## 医療機関による発生届のHER-SYS入力の促進

フリップ②

- ◆ 医療機関による発生届のHER-SYS入力率(6月13日現在)は72.9%となった
- ◆ FAXから、HER-SYS入力に変更した医療機関(6月13日現在)は863機関
- ◆ 依然として、入力医療機関数が半数に満たないことから、HER-SYS入力医療機関の更なる拡充が必要

### ◇HER-SYS入力状況

【HER-SYS入力率】(R4.3.25時点)

	(R4.3.25時点)	(5.15時点)	(6.13時点)
医療機関入力率			
大阪府	48%	72.1%	72.9%※
全国平均67% (R4.6.7時点)			

※府のHER-SYS入力情報を集計(6/6~6/12)

- ・発生届総数：8,978件
- ・HER-SYS入力数：6,544件
- ・うち、FAX届出からHER-SYS入力に変更した医療機関の入力数 2,235件

### 【FAX届出からHER-SYS入力に変更した医療機関】

	5/15時点	6/13時点
入力医療機関数 (FAX届出→HER-SYS入力)	751機関	863機関
4月1日時点HER-SYS未入力医療機関は2,078機関		

### ◇(参考)現在の取組状況 【健康観察等業務委託(R4.4.1~7.31)】

7月末まで延長

HER-SYS入力や健康観察等を行う診療・検査医療機関等の受託数：1,222機関(5/15時点) ▶ 1,313機関(6/13現在)

### ◇今後の対応方針

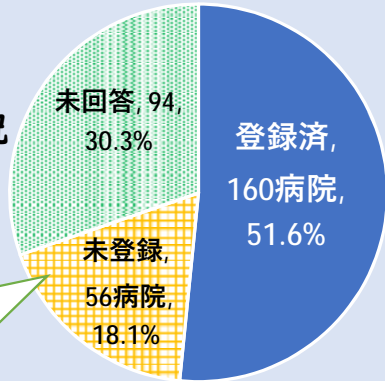
- 発生届出件数の多い医療機関に対し、引き続き保健所と連携しながら、働きかけていく
- 現在実施中の健康観察等業務委託について、さらなる周知を行う

# 新型コロナ患者の確保病床を有しない病院に対する感染対策支援体制の構築等の状況

## 治療薬のセンター登録状況

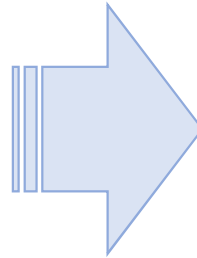
※経口治療薬、中和抗体薬のいずれかの登録センターに登録している病院の割合

4/12時点における  
実態調査(アンケート)  
回答済の216病院の状況

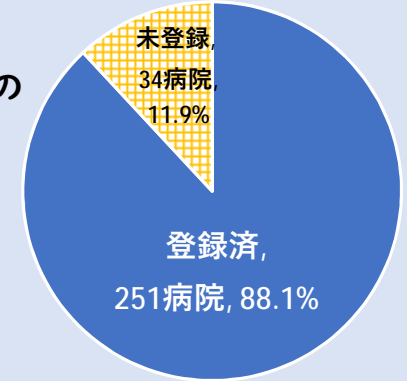


抗ウイルス薬(レムデシビル)の投与実績がある5病院(2.3%)を含んでいる。

登録確認済160病院/確保病床を有しない病院310病院(51.6%)



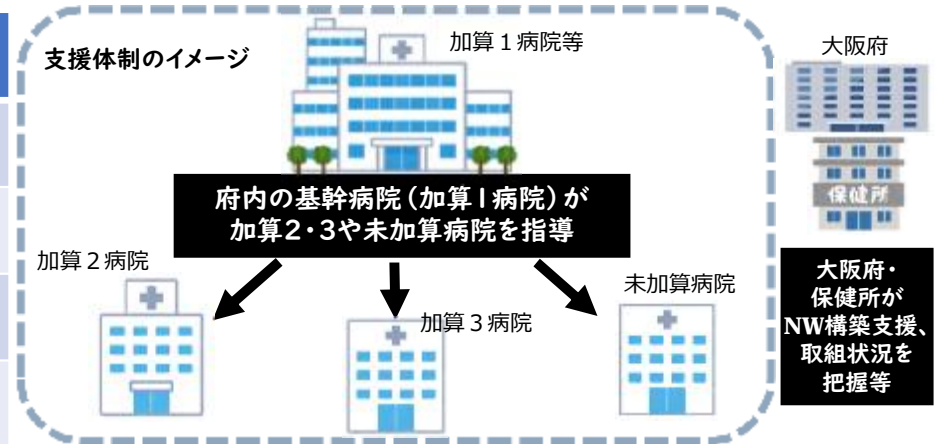
6/14時点における  
確保病床を有しない病院の  
うち、眼科・歯科病院等を  
除く285病院の状況



登録確認済251病院/確保病床を有しない病院285病院(88.1%)

## 保健所圏域ごとの感染対策支援体制構築の取組状況 (18保健所)

ネットワーク体制による支援	連絡会議等を開催済	6 保健所
	研修会等を開催済	4 保健所
	個別の病院へ働きかけ	4 保健所
保健所等が個別の病院へ働きかけ		4 保健所



引き続き、確保病床を有しない病院への支援と治療体制の充実を図っていく。

# 高齢者施設等の協力医療機関におけるコロナ治療対応促進

- ◆ 入所系・居住系の高齢者施設等に対して、協力医療機関のコロナ対応状況等についてアンケート調査を実施（R4.3.4～13）  
コロナ治療（中和抗体・経口薬・抗ウイルス薬）に対応できる協力医療機関を確保している施設は約3割
- ◆ 協力医療機関がコロナ治療対応していない施設に関し、施設及び協力医療機関に対し働きかけを実施。  
コロナ治療に対応できる協力医療機関を確保している施設はR4.5.16時点で52.2%。
- ◆ 引き続き、施設に対し働きかけを行った結果、コロナ治療に対応できる協力医療機関を確保している施設は62.3%（R4.6.13）。

## 【協力医療機関でのコロナ治療の対応状況（R4.6.13時点）】

	コロナ治療（※1）に対応できる 協力医療機関を確保している施設	協力医療機関では コロナ治療対応不可	要確認（確認中）	合計
高齢者施設等 （※2）の数	3月アンケート集計時点では約3割 <b>2,291施設 62.3%</b>	1,300施設 35.3%	89施設 2.4%	3,680施設

（※1）コロナ治療とは、次のいずれかの治療に対応するもの  
 ・中和抗体薬の投与：「ソトロビマブ（ゼビュディ）」「カシリビマブ及びイムデビマブ（ロナプリーブ）」  
 ・経口薬の投与・処方：「モルヌピラビル（ラゲブリオ）」等  
 ・抗ウイルス薬点滴：「レムデシビル（ベクルリー）」等

（※2）高齢者施設等の種別  
 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護医療院、  
 介護療養型医療施設、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、  
 サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

## ●今後の対応

- ◆ 要確認施設に対し引き続き確認を実施。
- ◆ 協力医療機関ではコロナ治療対応不可としている施設のうち、対応ができる可能性のある施設等に対し、引き続き働きかけを行う。
- ◆ コロナ治療に対応できる協力医療機関の未確保の高齢者施設等については、OCRTによる支援や高齢者施設等（入所）往診専用ダイヤルを活用しながら、当面の間、往診協力医療機関または重点往診チームにより対応。

# 高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症発生時対応訓練

フリップ⑤

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の次の感染拡大に備え、入所系・居住系の高齢者施設等において感染症への対応力を高めるため、発生時を想定した対応訓練を実施していただくよう各施設に依頼（R4.5.23）。
- ◆ 訓練実施の参考として、ゾーニングやPPEの着脱等についての動画等を掲載したホームページを作成し施設へ周知  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/fukushisomu/kansentaisaku/index.html>
- ◆ 高齢者施設等において訓練実施済の施設は**2,112ヶ所[57.4%]**（R4.6.14）。

## 1. 対象

府内（政令・中核市含む）入所系・居住系の高齢者施設等 3,680ヶ所

## 2. 実施内容

「高齢者施設等（入所）での陽性者発生時対応マニュアル」（R4.2.25府作成）による自主訓練

○施設内でのマニュアル共有と理解

○マニュアルの内容に基づき、施設内関係者でシミュレーション（訓練）実施

少数の陽性者が発生した時、クラスターが発生した時等のパターンも想定して実施

（例）・必要な衛生物資の確認 ・PPE等の着脱練習 ・陽性者の隔離、ゾーニングの計画

・陽性者発生時の職員シフトや必要な介護サービスの検討

○コロナ治療ができる協力医療機関や高齢者施設等往診専用ダイヤル(OCRT)等連絡先の共有

## 3. スケジュール

令和4年5月23日（月）～6月15日（水）の間に実施（実施した旨を6月17日（金）までに府へ報告）

## 4. 実施状況（R4.6.14時点）

**2,112ヶ所[57.4%]**



# 府大規模接種会場（ワクチン4回目接種）の設置について

フリップ⑥

会場名

**大阪府 心齋橋接種センター**

場 所:心齋橋SCビル(3回目接種会場と同会場)  
最寄駅:大阪メトロ「心齋橋」・「長堀橋」

予約開始

**6月17日(金) 12時**(正午)開始

予約方法

インターネット

検索

■ 対象者 **3回目のワクチン接種完了から5か月以上が経過した下記に該当する府民<sup>※</sup>**

┆ 60歳以上の方

┆ 18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方

※府内に住民票があり、市町村から送付された4回目用の接種券をお持ちの方

■ 接種開始 令和4年**6月24日**(金曜日)

■ 休館日 毎週水曜日

■ 開設時間 9:00~20:30 ※最終受付は20:00まで

■ 接種人数 最大 1,500人/日

■ 使用ワクチン 武田/モデルナ社製ワクチン

■ 問合せ先 コールセンター:06-6226-8180

※6月16日(木曜日)から 開設時間:8:30~20:30



©2014 大阪府もずやん

# 災害への備えはできていますか？ ～日頃からの備え～

フリップ⑦

- 大阪府北部地震(平成30年6月18日)から**4年**。
- いつ起きてもおかしくない『**地震や風水害**』。次の**4つの備え**について再確認を。

## 避難場所は知っていますか？

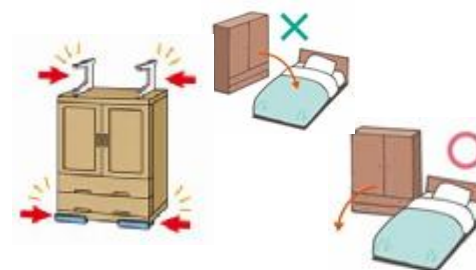
- 普段から市町村が指定している避難場所を確認しておきましょう！

リニューアルした「おおさか防災ネット」では、避難所を地図で見れるようになったで！



## 家具の転倒防止対策は万全ですか？

- 家具は倒れないよう、壁に固定したり、向きや配置を工夫しましょう！



## 備蓄食や非常持ち出し品の準備はできていますか？

- 最低3日分の備蓄食を備えましょう！
- 非常時に持ち出すべきものを、あらかじめ準備しておきましょう！



## 災害時安否確認方法は大丈夫ですか？

- 災害用伝言ダイヤル(171)など家族間での連絡手段を決めておきましょう！



※ 大阪府においても6月17日(金)に、メールによる全庁一斉の安否確認及び危機管理室における初動対応訓練を行います。

【参考】内閣府ホームページ (<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>)

## 「ベビーファースト運動」への参画

フリップ⑧

- 子育て世代が子どもを“産み育てたくなる”社会の実現をめざす「ベビーファースト運動」の趣旨に賛同し、大阪府も、本運動への参画を、本日宣言する。
- 活動宣言に基づく具体的アクションに取り組み、社会全体で子育て世代を応援する機運醸成を進めていく。

### 活動宣言

子どもを産み育てやすいまち 大阪へ！！



### アクション

- ①子どもを生み育てることができる社会を実現します
  - ・支援の充実により、家庭の養育力を補完し、高めていくとともに、子育てしやすい環境を整備することにより、必要なときに必要なサービスを受けることができる体制の確保などを進めます。
- ②子どもが成長できる社会を実現します
  - ・子どもが、粘り強く果敢にチャレンジすること、自立して力強く生きること、自律して社会を支えることができるような人づくりを推進します。
- ③事業主として、子育てに優しく、すべての職員が仕事と家庭を大切にできる職場づくりを進めます
  - ・子育てしやすい職場環境づくりを推進し、発信することで、社会全体の意識改革につなげていきます。

ベビーファースト運動への参画を機に、本日、事業主である知事による「イクボス宣言」を行う。